(1) 学校感染症で欠席するとき

病気で学校を休む場合に、児童生徒がかかった病気によっては、学校を休んでも欠席扱いにはならない場合があり、これを「出席停止」といいます。「出席停止」は学校やクラスでの伝染を防ぐためもありますが、何より児童生徒自身の治療と休養のための措置ですので、必ず学校までご連絡ください。

| 解析 | 種別 | 病名 | 学校保健安全法による措置(出席停止期間の基準) | |
|--|---------|-----------------|---|--|
| ## 種 | 第1種 | | 治癒するまで (流行地域からの帰国者のに注意する) | |
| ## 種 | 第1種 | クリミア・コンゴ 出血熱 | 治癒するまで // | |
| ## 1種 | 第1種 | ラッサ 熱 | 治癒するまで ″ | |
| ## 1種 ペスト 治療するまで (予防接種の既往を確認しておくことも重要) | 第1種 | マールブルグ病 | 治癒するまで " | |
| 第1種 急性灰白極炎(ボリオ) 治癒するまで 第1種 重広急性呼吸器症候群 治癒するまで 第1種 重な急性呼吸器症候群 治癒するまで 第1種 育をう 治癒するまで 第1種 特定鳥インフルエンザ 治癒するまで 第1種 特定鳥インフルエンザ 治癒するまで 第1種 中単呼吸器症候群 治癒するまで 第2世 メンカルエンザ 等極減症 指定感染症 新潟 治療するまで 第2世 インフルエンザ 発酵(機) 特別するまで 第2世 (特定鳥インフルエンザ 発酵(機) 対象するまで 第2世 (特定鳥インフルエンザ 発酵(機) 対象するまで 第2世 (特定鳥インフルエンザ 発酵(機) 対象するまで (特定鳥インフルエンザ 発酵(機) 対象・アンカルエンザ 及び新型インフルエンザ 及び新型インフルエンザ 及び新型インフルエンザ 及び新型インフルエンザ を発症 かた 特有の成が消失するまで又はも目的の適正なけた菌性物質契別による治療が終了するまで、 | 第1種 | 南米出血熱 | 治癒するまで ″ | |
| # 1種 ジフテリア 治癒するまで 単ペータコロナウイルス | 第1種 | ベスト | 治癒するまで (予防接種の既往を確認しておくことも重要) | |
| の | 第1種 | 急性灰白髄炎(ボリオ) | 治癒するまで | |
| 第1種 特定鳥・インフルエンザ 治療するまで ※ 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する ※ 意味の子院及び感染症の患者に対する医療に関する ※ 意味の子院及び感染症の患者に対する医療に関する ※ 意味の子院及び感染症の患者に対する医療に関する ※ 意味の子院及び感染症の患者に対する医療に関する ※ 意味の子院及び感染症の表者に対する医療に関する ※ 意味の子院及び感染症の患者に対する医療に関する ※ 意味の子院及び感染症の患者に対する医療に関する ※ 意味の子院及び感染症の患者に対する医療に関する ※ 意味の子院及び感染症の患者に対する医療に関する ※ 意味の子院及び感染症の患者に対する医療に関する ※ 意味の子院及び感染症の患者に対する医療に関する ※ 意味の子院及び感染症の患者に対する医療に関する ※ では、 | 第1種 | ジフテリア | 治癒するまで | |
| 第4種 特定鳥インフルエンザ 治癒するまで ※原染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する 法律第六条条 (現在東方へもに関定するもの) 原植 中東呼吸器症候群 治癒するまで まペータコレラクルス 風外に移っておものに限る 新型インフルエンザ等態染症 指定物除症 新聞 治癒するまで ※原染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する 法値が入りに現在するもの (特定鳥インフルエンザ 発症した後6日を経過し、かつ、解熱した後6日の1分別が脱インフルエンザ系の治療が脱インフルエンザ系の治療が脱インフルエンザ系の治療が脱インフルエンザ系の治療が脱インフルエンザ系の治療が脱インフルエンザ系の治療が脱インフルエンザ系の治療が脱インフルエンザ系の治療が脱インフルエンザ系の治療が脱インフルエンザ系の治療が脱インフルエンザ系の治療が脱インフルエンザ系の治療が脱インフルエンザ系の治療が脱インフルエンザ系の治療が脱イションエンザ系の治療が終了するまで (特定鳥インフルエンザ系の治療が脱インフルエンザ系の治療が終了するまで) 解え種 角以ん 解熱した後3日を経過するまで 以上が 所定性 所述 (対信を手) アベての乳しんが 所度化するまで 第2種 カロの 第4種 所に (対信を手) アベての乳しんが 所度化するまで 第2種 前型コロナウイルス 感染症 (表) 日本経過するまで 第2種 前型コロナウイルス 感染症 (表) 日本経過するまで 第2種 前核 原状により学校医その他の医師において 感染のおそれがないと 診められるまで 解3種 日の 原体 原状により学校医その他の医師において 感染のおそれがないと 診められるまで 解3種 月ボラマ 病状により学校医その他の医師において 感染のおそれがないと 診められるまで 解3種 月ボラフス 病状により学校医その他の医師において 感染のおそれがないと 診められるまで 解3種 月ボラマス 病状により学校医その他の医師において 感染のおそれがないと 診められるまで 解3種 魚性出血性結膜炎 病状により学校医その他の医師において 感染のおそれがないと 診められるまで 第3種 急性出血性結膜炎 病状により学校医その他の医師において 感染のおそれがないと 診められるまで 原体により学校医その他の医師において 感染のおそれがないと 診められるまで 病状により学校医その他の医師において 感染のおそれがないと 診められるまで 原体により学校医その他の医師において 感染のおそれがないと 診められるまで 海連 急性対象 (病状により学校医その他の医師において 感染のおそれがないと 診められるまで 海球の 原体により学校医その他の医師において 感染のおそれがないと 診められるまで 海球の は (ははは) (ははは、1) 日本には、1 日本の外のおそれがないと 診められるまで 原体により学校医その他の医師において 感染のおそれがないと 診められるまで 原体により (などにより学校医その他の医師において 感染のおそれがないと 診められるまで 原体により学校医その他の医師において 感染のおそれがないと いきがより 原体により学校医その他の医師において 感染のおそれがないと いきがとはより学校医その他の医師において 感染のおそれがないと いきがとない 病状により学校医その他の医師において 感染のおそれがないと 診められるまで 原体により学校医その他の医師において 感染のおそれがないと 診められるまで 原体により学校医その他の医師において 感染のおそれがないと 原体を 原体を 原体によりでは 原体を | 第1種 | 重症急性呼吸器症候群 | 治癒するまで ※ベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る | |
| 第1種 特定 | 第1種 | 痘そう | 治癒するまで | |
| 第1種 新型インフルエンザ 治症 インフルエンザ | 第1種 | 特定鳥インフルエンザ | ※感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する 治癒するまで ※感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する 法律第六条第三項第六号に規定するもの | |
| 第2種 | 第1種 | 中東呼吸器症候群 | 治癒するまで ※ベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る | |
| 第2種 百日咳 特有の咳が消失するまで又(16日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで 第2種 | 第1種 | | ※感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する 治癒するまで ※感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する 法律第六条第七項から第九項に規定するもの | |
| 第2種 百日咳 特有の咳が消失するまで又は日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで 第2種 麻しん 解熱した後3日を経過するまで 第2種 痛しん 解熱した後3日を経過するまで 第2種 流行性耳下腺炎 耳下腺、頸下腺又は舌下腺の腫脈が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好に 第2種 水痘(水ぼうそう) すべての発しんが痂皮化するまで 第2種 の問語結膜熱(ブール熱) 主要症状が消退した後2日を経過するまで 第2種 間頭結膜熱(ブール熱) 主要症状が消退した後2日を経過するまで 第2種 簡単コロナウイルス感染症(★) 発症した後3日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで 第2種 結核 痛状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 コレラ 痛状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 細菌性赤痢 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 腸管出血性大腸菌感染症 痛状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 脂質力ス 痛状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 原チフス 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 原チフス 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 が持性角結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 流行性角結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 急性出血性結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 急性出血性結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第4年 急性出血性結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第5連 意味な球節を定 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第6連 原対なより応染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第7 音楽は配感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第2 音がなよりに対しては主要症状が消失するまで (6・0型については停止の必要はない) 第1 年足の病 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第2 日の・ロース性臓において感染のおそれがないと認められるまで 第2 日の・ロース性臓において感染のおそれがないと認められるまで 第3 日の・ロース性臓により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3 日の・ロース性臓により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3 日の・ロース性臓により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3 日の・ロース性臓によりではないのにいていて感染のおそれがないと認められるまで 第4 日の・ロース性臓によりではないであれる。これはないで感染のおそれがないと認められるまで 第4 日の・ロース性臓によりではないであれる。 病状により学校医をの他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第4 日の・ロース性臓によりではないであれる。 病状により学校医をの他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第5 日の・ロース性臓によりではないであれる。 病状によりではないであれる。 病状によりであれる。 病状によりではないであれる。 病状によりではないであれる。 病状によりではないではないではないであれる。 病状によりではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない | 第2種 | インフルエンザ | 発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日(幼児にあっては、3日)を経過するまで(特 | |
| 第2種 | 2132 12 | (特定鳥インフルエンザを除く) | 定鳥インフルエンザ 及び 新型インフルエンザ 等感染症を除く) | |
| 第2種 流行性耳下腺炎 耳下腺、顎下除又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好に分類2種 水慮(水ぼうそう) すべての発しんが流度化するまで 第2種 水慮(水ぼうそう) すべての発しんが流度化するまで 第2種 即園籍結膜熱(ブール熱) 主要症状が消退した後2日を経過するまで 第2種 新型コロナウイルス感染症(★) 発症した後6日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで 第2種 糖膜炎間性髄膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 知間性赤痢 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 期害性力フス 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 期子フス 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 バラチフス 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 流行性角結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 急性出血性結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 素性出血性結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ボイエラ感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ウイルス性肝炎 A型については主要症状が消失するまで (6・0型については停止の必要はない) ※ ウイルス性肝炎 A型については主要症状が消失するまで (6・0型については停止の必要にないと認められるまで カイルスはド炎 キレの必要にないで感染のおそれがないと認められるまで ウイルス性肝炎 A型については主要症状が消失するまで (6・0型については停止の必要にない) ※ ヘルパンキーナーの表のおそれがないと認められるまで カイルアないと認められるまで ウイルス性肝炎 (年) 単位と早期治療が重要) | 第2種 | 百日咳 | 特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで | |
| 第2種 那度 財産(水ぼうそう) すべての発しんが筋皮化するまで 第2種 財産(水ぼうそう) すべての発しんが筋皮化するまで 第2種 新型コロナウイルス感染症(★) 発症した後6日を経過するまで 第2種 新型コロナウイルス感染症(★) 発症した後6日を経過するまで 第2種 結核 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第2種 髄膜炎菌性髄膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 畑箇性赤痢 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 棚房台血性大腸菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 ルラフス 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 流行性角結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 漁性出血性結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 漁性出血性結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 水の水はは、このかられるまで ボスより学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 海状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 海状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 海状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 海状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ウイルス性肝炎 ム型については主要症状が消失するまで(B・の型については停止の必要はない) 手足口痛 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで カイルス性肝炎 ム型については主要症状が消失するまで(B・の型については停止の必要はない) 第世のと中のと悪いおいないを認められるまで カイルスキれがないと認められるまで カイルスキれがないと認められるまで 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで カイルストと認められるまで カイルストと認められるまで 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 海球により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 海球のようにはいて感染のおそれがないと認められるまで 海球のよりにはいて感染のおそれがないと認められるまで 海域のようにはいて感染のおそれがないと認められるまで 海域のよりにはいて感染のよりにはいて感染の | 第2種 | 麻しん | 解熱した後3日を経過するまで | |
| 第2種 水痘(水(ぎ)そう) 第2種 四頭結膜熱(ブール熱) 主要症状が消息した後2日を経過するまで 第2種 新型コロナウイルス感染症(★) 発定した後6日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで 第2種 新型コロナウイルス感染症(★) 発定した後6日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで 第2種 結核 痛状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 コレラ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 細菌性赤痢 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 腸管出血性大腸菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 ルラチフス 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 パラチフス 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 流行性角結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 急性出血性結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 急染性胃腸炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第4 かルモネラ感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第5 は マイコフラズマ感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第5 は 所染び菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第6 によりど様医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第7 により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第7 (高米性紅斑(りんご病) 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第7 (高米性紅斑(りんご病) 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第7 (日本)・一般を表しないのままではない) 第2 (日本)・一般を表しまがは、またと認められるまで 第3 (日本)・一般を表しれがないと認められるまで 第4 (日本)・一般を表しまがは、またと認められるまで 第4 (日本)・一般において感染のおそれがないと認められるまで 第4 (日本)・一般において感染のおそれがないと認められるまで 第5 (日本)・一般において感染のおそれがないと認められるまで 第5 (日本)・一般において感染のおそれがないと認められるまで 第5 (日本)・一般において感染のおそれがないと認められるまで 第6 (日本)・「一般において感染のおそれがないと認められるまで 第6 (日本)・「一般において感染のおそれがないと認められるまで 第6 (日本)・「一般にないて感染のおそれがないと認められるまで 第6 (日本)・「一般にないて感染のおそれがないと認められるまで 第6 (日本)・「日本)・「日本)・「日本)・「日本)・「日本)・「日本)・「日本)・「 | 第2種 | 流行性耳下腺炎 | 耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好にな | |
| 第2種 回頭結膜熱(ブール熱) 主要症状が消息した後2日を経過するまで 第2種 新型コロナウイルス感染症(★) 発症した後6日を経過し、かつ、症状が軽块した後1日を経過するまで 第2種 結核 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 コレラ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 知価性赤痢 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 網価性赤痢 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 陽管出血性大腸菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 陽チフス 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 バラチフス 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 流行性角結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 急性出血性結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 急性性血性結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 意味性胃腸炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第 かルモネラ感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ すイコプラズマ感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 清連菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 高速球症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ (公染性紅斑(りんご病) 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ウイルス性肝炎 A型についでは主要症状が消失するまで (6・0型については停止の必要はない) 手足口病 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ カイルス性肝炎 A型についでは主要症状が消失するまで (6・0型についでは停止の必要はない) ※ トレルマギーナ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ カイルス性肝炎 A型についでは、主要症状が消失するまで (6・0型についでは・2部のられるまで ※ カイルスは、上部がられるまで ※ カイルスは、上部がられるまで ※ カイルスは、上部がられるまで ※ カイルスは、上部がられるまで ※ カイルスは、上部がよりられるまで ※ カイルスは、上部がよりがないと認められるまで ※ カイルスは、上部がよりられるまで ※ カイルスは、上部がよりがないと認められるまで ※ カイルスは、上部がよりがないと認められるまで ※ カイルスは、上部がよりれるは、上部がよりがないと認められるまで ※ カイルスは、上部がよりがないと認められるまで ※ カイルスは、上部がないと認められるまで ※ カイルスは、上部がよりがないと認められるまで ※ カイルスは、上部がよりがないと認められるまで ※ カイルスは、上部がよりがないと認める ※ カイルスは、上部がよりがないと認める ※ カイルスは、上部がないと認める ※ カイルスは、上部がよりないは、上部がよりないがないと認める | 第2種 | 風しん | 発しんが消失するまで | |
| 第2種 新型コロナウイルス感染症(★) 発症した後6日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで 第2種 結核 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第2種 髄膜炎菌性髄膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 細菌性赤痢 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 腸管出血性大腸菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 腸デフス 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 パラチフス 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 がうチフス 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 漁生由血性結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 療染性胃腸炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ オール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 第2種 | 水痘(水ぼうそう) | すべての発しんが痂皮化するまで | |
| 第2種 結核 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第2種 髄膜炎菌性髄膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 コレラ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 細菌性赤痢 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 腸管出血性大腸菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 腸チフス 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 パラチフス 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 流行性角結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 急性出血性結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 息味性胃腸炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ マイコプラズマ感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 市炎球菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 内臓療療 角状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ウイルス性肝炎 A型については主要症状が消失するまで (B・0型については停止の必要はない) ※ 中ノルス性肝炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ウイルス性肝炎 A型については主要症状が消失するまで (B・0型については停止の必要はない) ※ 中ノルス性肝炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ウイルス性肝炎 | 第2種 | 四頭結膜熱(ブール熱) | 主要症状が消退した後2日を経過するまで | |
| 第2種 髄膜炎菌性髄膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 コレラ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 細菌性赤痢 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 腸管出血性大腸菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 脂チフス 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 バラチフス 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 流行性角結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 急性出血性結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 砂染性胃腸炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ サルエネラ感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 市及球菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ RSウイルス感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 中ノルス感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 中ノルスを設定 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 中ノルスを設定 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 中ノルスを設定 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 中ノイルスを認定 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 中ノイルスを認定 | 第2種 | 新型コロナウイルス感染症(★) | 発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで | |
| 第3種 コレラ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 細菌性赤痢 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 腸管出血性大腸菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 腸チフス 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 バラチフス 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 流行性角結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 急性出血性結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 感染性胃腸炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ マイコプラズマ感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 市炎球菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 店球により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 原分イルス感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ウイルス性肝炎 A型については主要症状が消失するまで (B・O型については停止の必要はない) ※ 手足口病 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ウイルス性肝炎 A型については主要症状が消失するまで (B・O型については停止の必要はない) ※ 中のイルスセデタのよれがないと認められるまで ※ 中のイルスセデスをいると認められるまで ※ 中のイルスセデタのよれがないと認められるまで ※ 中のイルスセデタのよれがないと認められるまで | 第2種 | 結核 | 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで | |
| 第3種 細菌性赤痢 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 腸管出血性大腸菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 腸チフス 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 パラチフス 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 流行性角結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 急性出血性結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 急性出血性結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 砂染性胃腸炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ すっぱって感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 方達菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 内容性紅斑(りんご病) 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ウイルス性肝炎 A型については主要症状が消失するまで (6・0型については停止の必要はない) ※ キ足口病 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ウイルス性肝炎 A型については主要症状が消失するまで ※ ウイルス性肝炎 A型については主要がをその他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 中のより学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 中のより学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 中のより学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで | 第2種 | 髄膜炎菌性髄膜炎 | 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで | |
| 第3種 腸管出血性大腸菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 腸チフス 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 パラチフス 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 流行性角結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 急性出血性結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 意染性胃腸炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ サルモネラ感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ すが球菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 富藤園感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 日本のイルス感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ウイルス性肝炎 A型については主要症状が消失するまで (6・0型については停止の必要はない) ※ 手足口病 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ へルバンギーナ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 中のより学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 事足口病 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 中のよりないと認められるまで ※ 中のよりを終めのよそれがないと認められるまで ※ 中のよりを終しますと認知のよれがないと認められるまで ※ 中のよりを終しますと認知のよれがないと認められるまで | 第3種 | コレラ | | |
| #33種 | 第3種 | 細菌性赤痢 | 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで | |
| 第3種 バラチフス 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 流行性角結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 急性出血性結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 感染性胃腸炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ サルモネラ感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ マイコプラズマ感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 海連蘭感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 伝染性紅斑(りんご病) 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 中イルス感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ウイルス性肝炎 A型については主要症状が消失するまで (B・0型については停止の必要はない) ※ 手足口病 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ヘルパンギーナ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ヘルパンギーナ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ クリストラーストラーストラーストラーストラーストラーストラーストラーストラーストラー | 第3種 | 腸管出血性大腸菌感染症 | 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで | |
| 第3種 流行性角結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 第3種 急性出血性結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 感染性胃腸炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ サルモネラ感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ マイコプラズマ感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 肺炎球菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 伝染性紅斑(りんご病) 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 内イルス感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ウイルス性肝炎 A型については主要症状が消失するまで (B・0型については停止の必要はない) ※ 手足口病 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ヘルパンギーナ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ヘルパンギーナ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 本型のより学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 本型のよりにより学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 本型のよりにより学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 本型のよりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによ | 第3種 | 腸チフス | 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで | |
| 第3種 急性出血性結膜炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 感染性胃腸炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ サルモネラ感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ マイコプラズマ感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 肺炎球菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 宮連菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 伝染性紅斑(りんご病) 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ウイルス感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ウノルス性肝炎 A型については主要症状が消失するまで (B・0型については停止の必要はない) ※ チ足口病 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ヘルパンギーナ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ヘルパンギーナ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで | 第3種 | パラチフス | 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで | |
| ※ 感染性胃腸炎 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ サルモネラ感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ マイコプラズマ感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 肺炎球菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 溶連菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ (公染性紅斑(りんご病) 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ RSウイルス感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 中国の大きないのでは使用の必要はない) ※ 中プルス性肝炎 A型については主要症状が消失するまで (B・0型については停止の必要はない) ※ 手足口病 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ヘルパンギーナ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ヘルパンギーナ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 「中国の大きない」(早期発見と早期治療が重要) | 第3種 | 流行性角結膜炎 | | |
| ※ サルモネラ感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ マイコブラズマ感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 肺炎球菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 溶連菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ (伝染性紅斑(りんご病) 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ RSウイルス感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ウイルス性肝炎 A型については主要症状が消失するまで (B・c型については停止の必要はない) ※ 手足口病 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 第3種 | 急性出血性結膜炎 | 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで | |
| ※ マイコブラズマ感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 肺炎球菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 溶連菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 伝染性紅斑(りんご病) 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ RSウイルス感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ウイルス性肝炎 A型については主要症状が消失するまで (B・O型については停止の必要はない) ※ 手足口病 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ イルバンギーナ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ヘルバンギーナ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 「中国では、「中国では、「中国発見と早期治療が重要」 | * | 感染性胃腸炎 | 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで | |
| ※ 肺炎球菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 溶連菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 伝染性紅斑(りんご病) 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ RSウイルス感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ウイルス性肝炎 A型については主要症状が消失するまで (B・○型については停止の必要はない) ※ 手足口病 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ヘルバンギーナ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ヘルバンギーナ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ クルバンギーナ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ クルバンギーナ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ クルバンギーナ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで | * | サルモネラ感染症 | 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで | |
| ※ 溶連菌感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ 伝染性紅斑(りんご病) 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ RSウイルス感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ウイルス性肝炎 A型については主要症状が消失するまで (B・O型については停止の必要はない) ※ 手足口病 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ヘルパンギーナ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで アタマジラミ 通常出席停止の措置は必要ない (早期発見と早期治療が重要) | ** | マイコブラズマ感染症 | 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで | |
| ※ 伝染性紅斑(りんご病) 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ RSウイルス感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ウイルス性肝炎 A型については主要症状が消失するまで (B・O型については停止の必要はない) ※ 手足口病 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ヘルバンギーナ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ― アタマジラミ 通常出席停止の措置は必要ない (早期発見と早期治療が重要) | ** | 肺炎球菌感染症 | 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで | |
| ※ RSウイルス感染症 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ウイルス性肝炎 A型については主要症状が消失するまで (B・C型については停止の必要はない) ※ 手足口病 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ヘルバンギーナ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 一 アタマジラミ 通常出席停止の措置は必要ない(早期発見と早期治療が重要) | ** | 溶連菌感染症 | 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで | |
| ※ ウイルス性肝炎 A型については主要症状が消失するまで (B・O型については停止の必要はない) ※ 手足口病 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ヘルパンギーナ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで 一 アタマジラミ 通常出席停止の措置は必要ない (早期発見と早期治療が重要) | ** | 伝染性紅斑(りんご病) | 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで | |
| ※ 手足口病 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ※ ヘルパンギーナ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで ー アタマジラミ 通常出席停止の措置は必要ない(早期発見と早期治療が重要) | ** | RSウイルス感染症 | | |
| ※ ヘルパンギーナ 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまでー アタマジラミ 通常出席停止の措置は必要ない (早期発見と早期治療が重要) | ** | ウイルス性肝炎 | | |
| - アタマジラミ 通常出席停止の措置は必要ない (早期発見と早期治療が重要) | ** | 手足口病 | | |
| | ** | ヘルパンギーナ | | |
| 一 カバザ 通常中度停止の共電は必要ない | _ | アタマジラミ | 通常出席停止の措置は必要ない(早期発見と早期治療が重要) | |
| は中田市が正の旧屋は必要が、 | _ | 水い(ぎ | 通常出席停止の措置は必要ない | |
| - 伝染性膿痂疹(とびひ) 通常出席停止の措置は必要ない (皮膚の清潔を保ち、ブール、入浴を共にしない等注意する) | | 伝染性膿痂疹(とびひ) | 通常出席停止の措置は必要ない (皮膚の清潔を保ち、ブール、入浴を共にしない等注意する) | |

主な学校感染症とその対応

【インフルエンザの場合】

発症後5日を経過し、かつ解熱後2日経過するまでが出席停止の期間となります。

【コロナの場合】

発症後5日を経過し、かつ症状が軽快後1日経過するまでが出席停止の期間となります。

※発症日を必ず確認してください。 ※医師による診断書は必要ありません。

(2) 忌引きになる場合

身内にご不孝があったとき、それに関連する欠席については忌引き扱いになる場合があります。生徒と亡くなられた方との続柄によって、忌引き日数は下のように決められています。

| 父母:7日以内 | 祖父母:3日以内 | 兄弟姉妹:3日以内 |
|------------|-----------|-----------|
| おじ/おば:2日以内 | 曾祖父母:1日以内 | 甥/姪:1日以内 |

【遠方の場合】

往復日数を加算することもできます。なお、法事は忌引き扱いにはなりません。

^{※ 「}その他の感染症」として出席停止の指示をするかどうかは、感染症の種類、年齢等を考慮し判断すること。

[★] 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)